

資料3-2

No.	頁	見出し	分類	内容	記入者	備考
1	2	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿	検討	地域学校協働活動とは、「地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支える	長谷川副議長	「子ども」への修正を検討しておりますが、文科省の資料から引用しているため、そのままではいかと思います。
2	2	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (1) 「地域学校協働活動」を推進する利点	加筆	検討事項2	高橋委員	「また、地域の大人にとっては、子どもと関わり共に学ぶこと通して、多くの元気（エネルギー）をもらい、地域に貢献しているというやりがいや成就感にも繋がるという利点が考えられる。」を加筆する（定例会で皆さんの意見を聞いた方がよいかもしれません）
3	2	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (1) 「地域学校協働活動」を推進する利点	加筆	検討事項2	高橋委員	「一方で、学校は「地域学校協働活動」を推進することで、地域の人々の支援を受けて、登下校の安全を守り、授業や部活動等の充実・改善に繋がり、ダイナミックな教育活動を実施することができるのである。」を加筆する（定例会で皆さんの意見を聞いた方がよいかもしれません）
4	2	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (1) 「地域学校協働活動」を推進する利点	加筆	地域への愛着につながっていくという利点があると考えられる。	長谷川副議長	「地域への愛着につながっていく。また、そこに関わる大人（地域住民）にも力や生きがいを与えていくという、子どもと大人双方にとって利点があると考えられる。」を加筆する（定例会で皆さんの意見を聞いた方がよいかもしれません）
5	2	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (1) 「地域学校協働活動」を推進する利点	加筆	「たまご＝他孫」	攝賀議長	注釈を前回提言同様、明記する
6	3	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (2) 「地域学校協働活動」の諸活動	検討	検討事項4	高橋委員	「地域学校協働活動の推進に向けたガイドライン」より抜粋しているため、文言の修正が必要かどうかは要検討
7	3	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (3) 「地域学校協働活動」に参画する人々	検討	全体の表現について	攝賀議長	地域の定義が中心となっているため、参画する人々についての記述を中心に据えた方がよいのではないかと
8	6	4 まとめ	検討	身近に学校と連携事業をしている放課後子供教室をベースとして期間設定の上で取り組み、その成果をもって市内全校へ展開していくことが望まれる。	長谷川副議長	「小学校では現在、身近に学校と連携事業をしている放課後子供教室等をベースとし、中学校においては、〇〇等をベースとして」に修正する
9	6	4 まとめ	加筆	検討事項7	高橋委員	「今回は早期実現を図るため、モデル校の設置までを中間の提言とした。今後、実施経過を検証しながら、制度の確立に向け必要な提言をしていきたい。」を加筆する（定例会で皆さんの意見を聞いた方がよいかもしれません）

その他

- 目次の作成
- 注釈部分の確認
- 調査表の参考添付
- 誤字・脱字の確認
- 表現の統一（子ども、子供等）

No.	頁	見出し	分類	内容	記入者	備考
1	1	全体	修正	数字の記載について	川原委員	
2	1	はじめに	修正	「地域学校協働活動」を発展させる	攝賀議長	
3	1	はじめに	修正	「地域と学校の協働」の在り方	川原委員	
4	1	はじめに	修正	基礎的事業の一つだと捉えた。	川原委員	
5	1	はじめに	修正	人口減少やグローバル化など、	北村委員	

No.	頁	見出し	分類	内容	記入者	備考
6	1	はじめに	修正	「地域学校協働活動」を念頭に置いて提言を行った。	川原 委員	
7	1	はじめに	修正	今回は上記、二つの提言に鑑み、	川原 委員	
8	1	はじめに	修正	今回は上記、二つの提言に鑑み、「地域学校協働活動」に焦点を当て、議論する必要があると考えた。	高橋 委員	
9	1	はじめに	修正	市内小中学校	攝賀 議長	
10	1	はじめに	修正	小・中学校の地域連携がどのように行われているのか、	北村 委員	
11	1	はじめに	修正	まずは中間の提言をすることとした。	川原 委員	
12	2	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿	修正	「学校を核とした地域づくり」	川原 委員	
13	2	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿	修正	また、小学校では今年度から全面実施されている新学習指導要領の中に、変化する社会の中で学校と地域が連携・協働する「社会に開かれた教育課程」が明示され、	川原 委員	
14	2	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿	修正	子どもの成長を支え、地域を創生することに繋がる価値ある活動である。	川原 委員	
15	2	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿	修正	今後、西東京市の目指す「地域学校協働活動」の必要性やあるべき求める姿を考えてみたい。	攝賀 議長	
16	2	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (1) 「地域学校協働活動」を推進する利点	修正	地域の大人との関わりを持ち、	高橋 委員	
17	2	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (1) 「地域学校協働活動」を推進する利点	修正	知識・経験の豊富な高齢者、地域団体等の多様な人々には、	北村 委員	
18	2	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (1) 「地域学校協働活動」を推進する利点	修正	地域への愛着につながっていくという利点があると考えられる。	高橋 委員	
19	2	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (1) 「地域学校協働活動」を推進する利点	修正	各小・中学校にある 学校避難所運営協議会なども含め	攝賀 議長	
20	3	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (2) 「地域学校協働活動」の諸活動	修正	② 放課後子供教室等の学習活動	北村 委員	
21	3	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (2) 「地域学校協働活動」の諸活動	修正	④ その他 学校避難所運営協議会 等	高橋 委員	
22	3	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (2) 「地域学校協働活動」の諸活動	修正	④ その他 学校避難所運営協議会 等	攝賀 議長	
23	3	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (3) 「地域学校協働活動」に参画する人々	修正	第2は、地理学の視点から見た地域である。行政上の機能的単位である学校の学区は区分の中でもわかりやすい。	北村 委員	
24	3	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (3) 「地域学校協働活動」に参画する人々	修正	限られた人々のみ	川原 委員	
25	3	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (3) 「地域学校協働活動」に参画する人々	修正	地域を支える現在のあり方が、	川原 委員	

No.	頁	見出し	分類	内容	記入者	備考
26	3	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (3) 「地域学校協働活動」に参画する人々	修正	地域に新たな風を吹き込むことも	川原 委員	
27	3	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (3) 「地域学校協働活動」に参画する人々	修正	地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の人材が考えられる。	攝賀 議長	
28	4	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (4) 「地域学校協働活動」の主な活動場所	修正	それぞれの地域の特性を生かした活用が考えられる。	北村 委員	
29	4	1 「地域学校協働活動」の必要性とあるべき姿 (4) 「地域学校協働活動」の主な活動場所	修正	それぞれの地域の特性を生かした活用	川原 委員	
30	4	2 西東京市の現状 (1) 市内小・中学校の「学校と地域」の連携・協力について	修正	そして、全小学校に共通してみられる地域協力に	川原 委員	
31	4	2 西東京市の現状 (1) 市内小・中学校の「学校と地域」の連携・協力について	修正	いずれの地域も、特有の地理的、社会的な特徴を有し、活動の種類や内容には、その置かれた文脈によって地域ごとに多様な取組みが見られた。	北村 委員	
32	5	3 「地域学校協働活動」に向けた今後の課題と方向性 (1) 人材	修正	「地域学校協働活動」の全体像を捉え、その活動を推進していく社会教育主事	川原 委員	
33	5	3 「地域学校協働活動」に向けた今後の課題と方向性 (1) 人材	修正	社会教育主事の役割が必要である。(或いは、統括コーディネーター)	川原 委員	
34	5	3 「地域学校協働活動」に向けた今後の課題と方向性 (2) 行政	修正	推進していく	北村 委員	
35	5	3 「地域学校協働活動」に向けた今後の課題と方向性 (3) 情報の共有	修正	学校にかかわるルールを	北村 委員	
36	5	3 「地域学校協働活動」に向けた今後の課題と方向性 (3) 情報の共有	修正	一方、学校も校長をはじめ教職員一人一人が地域活動の大切さを理解し、	川原 委員	
37	5	3 「地域学校協働活動」に向けた今後の課題と方向性 (4) 学校	修正	地域と学校の連携・協働の取り組みによってこそ、	長谷川 副議長	
38	5	3 「地域学校協働活動」に向けた今後の課題と方向性 (4) 学校	修正	地域の力を借りて今までできなかった教育活動の展開	高橋 委員	
39	5	3 「地域学校協働活動」に向けた今後の課題と方向性 (4) 学校	修正	学校での問題を地域の問題として進めていくことができるなど、	高橋 委員	
40	6	3 「地域学校協働活動」に向けた今後の課題と方向性 (5) 地域	修正	子供たちと顔見知りになることで	長谷川 副議長	
41	6	3 「地域学校協働活動」に向けた今後の課題と方向性 (5) 地域	修正	地域の他の場	北村 委員	

No.	頁	見出し	分類	内容	記入者	備考
42	6	3 「地域学校協働活動」に向けた今後の課題と方向性 (5) 地域	修正	育てることに	北村 委員	
43	6	3 「地域学校協働活動」に向けた今後の課題と方向性 (5) 地域	修正	放課後子供教室、育成会、避難所運営などの活動は、	北村 委員	
44	6	3 「地域学校協働活動」に向けた今後の課題と方向性 (5) 地域	修正	違いがあるが	北村 委員	
45	6	4 まとめ	修正	西東京市の	北村 委員	
46	6	4 まとめ	修正	一体となって取り組むことが求められる。	北村 委員	
47	6	4 まとめ	修正	徐々に地域と学校との連携、そして協働へ段階的に進めることが望ましい。	川原 委員	
48	6	4 まとめ	修正	まずは、モデル校（小1校・中1校）を指定し、現在、身近に学校と連携事業をしている放課後子供教室をベースとして	川原 委員	
49	6	4 まとめ	修正	期間設定の上で取り組み	北村 委員	
50	6	4 まとめ	修正	展開していくことが望まれる。	北村 委員	